

バリュー プロデュースコース

受講者募集のご案内

交通費・
宿泊費実費

受講料
無料

申込締切日

6月16日(月) 正午

技術移転に必要な知識と
スキルを習得し事業を
プロデュースする力をつける

目利き人材育成プログラムとは

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)では、2002年度から大学等の研究成果の実用化を促進する人材の育成・確保のため、大学・TLO・公的研究機関・地方自治体等で産学官連携・技術移転業務に携わる人材(目利き人材)の専門能力の向上、目利き人材のネットワーク構築等を目的とした研修を実施してきました。これまで延べ約13,500名を超える方々に受講いただいています。今年度も大学等で研究開発プロジェクトを推進・支援するコーディネータや研究者、URA、大学職員等を対象とした研修を実施します。

コースの概要

本コースでは、産学官連携に従事する方を対象に、実務者として技術シーズの価値を高め、事業化に至るまでに必要なプロデュース力について学びます。実際の技術シーズをケース事例として、事業化のプロセスに沿って全体を俯瞰しながら、様々な分析手法を用いた多角的な検討を通じ、受講者自身の今後の技術移転活動へ役立てることをねらいとします。

2025年 7月16日(水)・17日(木)/10月15日(水)・16日(木)/
12月10日(水)・11日(木)

コース概要・日程／募集定員 30名 全課程を修了された方に修了証を授与いたします。

	概 要	日 程
第1回	研究成果の選別・評価と事業化へのロードマッピング 事業化展開を進めるため、研究者や研究成果の技術面や人物面から新たな価値を探る「トリアージ」と研究成果の出口戦略を考え、目標達成(事業化)に至るまでのプロセスについてマッピングする「ロードマッピング」を学び、実際の技術シーズをケース事例に、議論をしながらロードマッピングを検討します。	7月16日(※) 10:00～17:00
第2回	産学官連携・技術移転活動の全体俯瞰 産学官連携の流れを全体俯瞰し、技術移転活動に必要なスキルや視点について学びます。また、第1回で検討した実際の技術シーズを用いて研究成果のトリアージを行い、事業化シナリオの策定に向けてグループで議論します。さらにグループごとの発表で多様なアイデアや事業化へのヒントを共有します。	7月17日(※) 9:30～16:30
第3回	研究成果の付加価値の創出 研究成果のシーズやニーズの捉え方や事業化への実現性の評価について、技術マーケティングの実践的手法の1つであるS-N変換法を用いて学びます。新たな価値と未来の顧客を同定していくアプローチ手法を理解し、第三者が興味を引くような技術紹介のポイントを掴みます。	10月15日(※) 10:00～17:00
第4回	知財戦略の検討 技術移転における知財戦略の意義と留意すべきポイントを学びます。事前課題で出口戦略の検討の際に重要となる特許調査や収集した情報の整理等に取り組み、知財戦略の立案に向けたアプローチとしてグループで議論しながらパテントマップを作成し、知財戦略の導出について理解を深めます。	10月16日(※) 9:30～16:30
第5回	事業化シナリオの策定① 事業化シナリオの実践事例の講義を通じて、事業化シナリオの検討ポイントについて理解を深めます。また、第1回から第4回で作成したトリアージ表やS-N変換表等を振り返りながら、テーマや提供するサービス、競合やコスト、ビジネススキーム等をグループごとに議論し、事業化シナリオ策定に向けてポイントを整理していきます。	12月10日(※) 10:00～17:00
第6回	事業化シナリオの策定② 事業化に向けて検討すべき課題やリスク等の整理と、今後取り組むべき技術開発や知財戦略等を考えます。グループごとに研究者や関係者に提案する形の事業化シナリオとして取りまとめ、プレゼン形式でグループ発表してアイデアやシナリオ策定のポイントについて共有します。	12月11日(※) 9:30～16:30

会 場

国立研究開発法人 科学技術振興機構
東京本部 別館 (〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's 五番町)

受講料

無 料 但し、交通費、宿泊費等については各自でご負担願います。

受講対象

大学等・企業において産学官連携・技術移転に係わり、研究推進を行う研究者やコーディネート活動に従事している方、または研究支援あるいは事業化支援を行っている方。

主な担当講師 (五十音順)

尾谷 敬造 (神奈川大学 産学官連携コーディネータ)
各務 茂夫 (開志専門職大学 学長・東京大学 特命教授)
久保 浩三 (奈良先端科学技術大学院大学 客員教授 名誉教授・信州大学 特任教授)
三宅 徹 (株式会社未来機械 代表取締役)

申込方法

下記URLにお進みいただき、申込受付フォームよりお申し込みください。
https://form2.jst.go.jp/s/mekiki_valueR7_2025

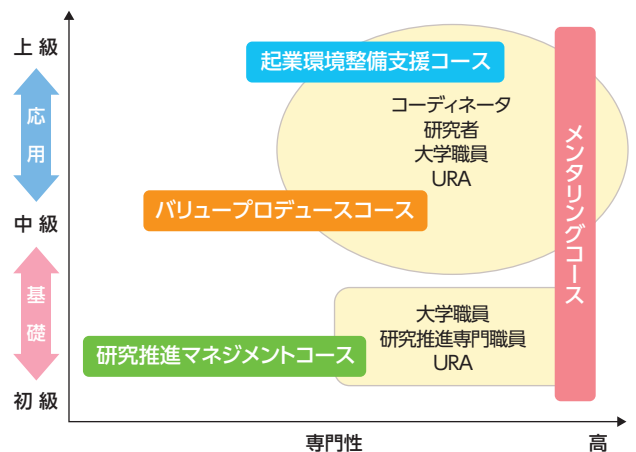
- ※本コースは第1回～第6回まで全てを受講できる方を対象とします。
 - ※希望者が募集定員を上回った場合には、所属機関、地域等に偏りのないよう調整させていただきますので、あらかじめご了承ください。
 - ※申込先着順ではありません。受講の可否は、メールでお知らせいたします。
 - ※研究推進マネジメントコース・起業環境整備支援コースを同一年度で重複して受講することはできません。
- 詳細は、目利き研修HPにてお知らせいたします。
<https://www.jst.go.jp/innov-jinzai/program/mekiki/koubo/index.html>

申込受付期間

5月12日(月)～6月16日(月) 正午

コースの特徴

各コースの対象者とレベルの位置付け



申込はこちら

お問合せ・お申込み先

運営事務局
公益財団法人 全日本科学技術協会 (JAREC)
バリュープロデュースコース
担当: 大門・荒川・麻生・山本 TEL: 03-3831-5911
E-mail: value25@jarec.or.jp

主 催
国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST)
人財部 科学技術イノベーション人材育成室
<https://www.jst.go.jp/innov-jinzai/program/mekiki/index.html>
E-mail: mekiki@jst.go.jp